

○ 調査問題

【リスニング問題】

4 英語の授業で、外国の学校の生徒からの音声メッセージを聞くことになりました。このメッセージをよく聞いて、メッセージの中の問いかけに対するあなたの答えを英語で書きなさい。

【放送部分】

[Boy]

I study math and English every day. After school, I often study at my friend's house. At night, I study at my house. Where do you study?

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 音声メッセージを聞いて、自らの状況についてたずねる質問に対する答えを書く。

【出題の趣旨】 聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	② 準正答	9 左記以外	0 無解答
反応率	34.5%	18.6%	39.3%	7.5%

- 正答率は53.1%であった。この問題は聞き取った内容に対して適切に応じることができるかをみるのが趣旨であり、軽微な誤り(前置詞、冠詞、スペリングなどのミス)があっても解答内容が適切であれば準正答扱いとしている。
- 正答例として、「自分が勉強する場所」について“*At school.*”のように前置詞句のみで答えているものや、“*I study at my house.*” “*I study math at home.*”のように主語と動詞を用いて「自分が勉強する場所」、それに加えて教科なども答えているものがある。
- 準正答の中では、*at* や *in* などの前置詞の付け忘れや誤りがあるものが最も多く見られた。普段の授業を通して、単に前置詞句として扱うだけでなく、各前置詞のイメージ図を用いて感覚的に理解させることも有効であると考えられる。
- 普段の授業において、様々なオープンクエスチョンに対し、生徒が相手を意識しながら、自分の考えや気持ちなどを答える場の創出が求められる。
- 主な誤答は“*I study English.*”のように、自分が勉強する場所ではなく、教科名を答えているものであった。理由としては“*Where do you study?*”の疑問詞“*Where*”が正確に聞き取れなかったことや、メッセージ全体の趣意が捉えられなかったこと等が考えられる。

○ 指導上のポイント

「5W1Hを意識して英文を聞く力」を育成する指導

(例：生徒同士によるSmall talk テーマ「週末の出来事」)



Sounds good. What did you buy?

I went shopping last Saturday.



So cool! Where did you buy that?

I bought a pen case. This one.



I want to go. How did you go there?

I bought at ○○ store. I recommend.



上記のSmall Talkを行う前に、教師やALTのやり取りを聞かせたり、ICTを活用し、繰り返し聞かせる活動を行わせたりすることにより、段階的に実践的な聞く力を身に付けさせていくなどの工夫が考えられる。

「英語で自分の思いや考えを伝える力」を育成する指導

教科書などの例文を基に、1～2文、慣れてきたら4文程度の英語日記を書くことも効果的である。ただ書き写すのではなく、自分の生活に身近な内容にすることにより、思いや考えを表現しやすくなる。(例：I like music. I want to be a singer. So I'm practicing every day. I love to sing in the bathroom.)

～小学校で身に付けた力を中学校でさらに伸ばす～

- 小学校では、簡単な語句や基本的な表現を用いて「その場で」質問したり答えたりして、伝え合うことができるようにする。
- 中学校では、簡単な語句や文を用いて「即興で」伝え合うことができるようにする。併せて『出来事→詳しい情報→感想や考え』のように、構成のモデルを意識させ、書く力も育成したい。

小中連携
の視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(「聞くこと」について問う問題)

- 1 新しいALTの先生が来ました。あることを話した後、あなたに質問します。よく聞いて、問いかけに対するあなたの答えを英語で書きなさい。 **レベル10・11**

【放送される英文】

Hello. I'm Ellen. I like Japan. I like Japanese food very much.
Where can I eat Japanese food in this city / town / village?

答え

【出典】R2 復習シート

2年生・英語 レベル10・11

1 聞くこと

○ 調査問題

13 あなたは、たがいの国について紹介するために、外国人の友達と英語の手紙のやりとりをしています。あるとき友達から受け取った手紙の中に、友達が好きな都市についての話がかかれていました。そして、その手紙の最後に次の質問がありました。

What Japanese city do you like? Why?

あなたはこの質問の答えとして、以下のように書こうと考えました。

【返事】

I like ① _____ because ② _____.

【返事】の空欄①と②に当てはまる英語を解答欄に書きなさい。ただし、①は1語以上、②は3語以上とします。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 質問に対して、英語で自分の考えとその理由を書く。

【出題の趣旨】 自分の考えを理由とともに正確に書くことができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	② 準正答	9 左記以外	0 無解答
反応率	26.1%	14.9%	47.7%	11.3%

- 正答率は41%であった。この問題は、軽微な誤り（綴りのミスが1か所あるもの）のある解答は準正答とし、正答率に含めている。
- まず問題文をしっかり読み取り、目的や状況、場面に応じて、教科書の既習単語や文法を駆使しながら、好きな都市とその理由を正確に書くことが求められる。
- 誤答、無解答率が合わせて59%であった。原因としては、好きな都市はあるがその理由が思い浮かばない、等が考えられる。
- 主な誤答は、内容が質問に合っていないもの（好きな都市を挙げていないもの等）、複数の軽微な誤り（綴りミス、冠詞の誤り、前置詞の付け忘れ等）があった。理由としては、自分の考えを簡単な表現で書くという機会が少ない、基本文の定着度が低いことが考えられる。

○ 指導上のポイント

対話的な活動から、テーマに沿って自分の考えを含んだ英文を書く指導

テーマに沿った英文を書かせるためには、いきなり書かせる指導ではなく、段階を追って指導することが大切である。まず、身近なテーマ（週末にしたこと、好きな食べ物など）を提示し、ペアで対話した後、その内容を英文に書く。最後に数名の生徒が発表し全体で共有する。このような対話的活動を行う際、できるだけ会話内容を一言で終わらせず、感想や理由を付け加えることを意識させたりすることも大切である。また、活動のゴールとして、ALTに伝えるなど、目的をもって活動させることも有効である。



What did you do last weekend?



I went shopping, because I needed a new notebook. I bought it at "Big Mart". How about you?



I went to see a movie with my friends. It was very nice.



Sounds good. Please tell me the movie's name.



主体的、対話的で深い学びの視点

【対話後に書く英文例】

※主語をIにする場合

I went to see a movie last weekend. I enjoyed the movie with Yuka and Rie. The movie was "The Great Animal". We liked the movie very much. I want to see it again.

※話相手について書く場合

Takashi went shopping last weekend. He bought a new notebook at "Big Mart". I told him about my favorite movie.

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

2 あなたは交換留学生のTomについて学校新聞で紹介します。Tomから聞き取ったインタビューメモの内容から、彼について説明する英文を3つ書きなさい。レベル11

<メモ>

- ・(出身国) オーストラリア (Australia)
- ・(特技) 3か国語(英語・日本語・韓国語)を話す
- ・(趣味) 日本の音楽を聞くこと
- ・(将来の夢) 日本で英語の先生になりたい

答え

- (1)
- (2)
- (3)

【出典】R3復習シート

3年生・英語 レベル11

2 「書くこと」

